

第10回 垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 会議録

1.	日 時	: 令和 元年 11月 18日 (月) 13:30 ~ 15:15
2.	場 所	: 市役所 3階 第一会議室
3.	会 次 第	: 1. 開 会 2. 市長あいさつ (代理: 副市長) 3. 協議 (1) 第1期「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果検証について (2) 第2期「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定について (3) その他 4. 閉 会
4.	出席者	: ・堂 蘭 一仁 委員 ・脇元 浩継 委員 ・小畑 日出子 委員 ・岩橋 由紀 委員 ・田邊 修一 委員 ・佐野 雅昭 委員 ・森田 勝弘 委員 ・吉永 勝 委員 ・上和田 邦彦 委員 ・萩山 真一 委員 ・宮下 直弥 委員
5.	欠席者	: ・川畑 敏朗 委員 ・宮迫 隆憲 委員 ・森 真由美 委員 ・川畑 博海 委員
6.	垂 水 市	: ・長濱 重光 副市長
7.	事 務 局	: ・二川 課長 ・園田 課長補佐 ・脇 係長 ・市木 主査 ・太崎 主任主事

事務局 …… 定刻になりましたので、ただいまより、第10回垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を開催いたします。

本審議会におきまして、過半数の委員の出席をいただいておりますので、本会設置要綱第6条第2項の規定に基づき、本審議会は有効に成立しましたことを、ご報告申し上げます。

それでは、会次第に沿って進めてまいります。開会にあたりまして、本来、市長が挨拶を申し上げるべきですが、公務により不在のため、副市長より挨拶を頂きます。

副市長 …… 本来、市長がこの場で挨拶を申し上げるべきですが、あいにく公務により不在のため、私よりご挨拶申し上げます。

委員の皆さま方におかれましては、大変お忙しいところ、本審議会にご出席をいただき、誠に有難うございます。

また、日頃より、垂水市政にご協力を賜り、重ねて感謝申し上げます。

ます。

現在、本市では、皆さまのご協力により策定されました、『垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略』に基づき、地方創生に関する様々な事業を展開しております。

その一つが、「道の駅たるみずはまびら」の整備でございます。垂水市の経済施策の柱であります「6次産業化と観光振興」の実現を目的としまして、浜平地区に「道の駅たるみずはまびら」を中心とした「新たな拠点」を整備いたしました。今月23日に1周年を迎えようとしているところです。

現在、垂水市の交流人口が年間約120万人から140万人でございます。このうち、牛根にあります「道の駅たるみず」の来客者数が年間80万人、これと同等の80万人の交流人口を「道の駅たるみずはまびら」で新たに生み出すことで、年間200万人の交流人口を目指すものでございます。交流人口200万人を具現化することで、定住人口2万7千人の経済効果に相当するということです。現状の人口約1万5千人と合わせて、約4万人の財源を作り、それを介護・医療・福祉等の社会保障の財源に充てる、このことが基本的な考えでございます。

さらに、南に位置する、この「道の駅たるみずはまびら」と北に位置する「道の駅たるみず」、中央に位置する「森の駅たるみず」、この「3つの拠点」を結ぶことによりまして、それぞれの特性を生かした回遊性を生み出し、周辺の飲食店や宿泊施設、温泉施設等との相乗効果により、地域経済の活性化を図り、持続可能な垂水市を目指すものでございます。

現在の「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」につきましては、今年で5年目、最終年度を迎えております。本審議会に関連事業の効果を検証していただき、その結果をしっかりと反映し、今後展開していくことが、地方創生を実現していくうえで、非常に重要であると考えております。

現在の取組みを途切れさすことなく、息長く取り組んでいくためにも、引き続き、皆様方のご意見やご提案を賜りますよう、お願い申し上げます。簡単ではございますが、開催に際しましての挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局
(企画政策課長)

...

ありがとうございました。

それでは、議長を選出いたします。本審議会設置要綱第5条第3項に、「会長は、審議会の会議の議長となる」と規定してありますことから、会長をお願いいたします。

議長

… 議長を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。
それでは、審議に入ります。審議事項（１）の『第１期「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果検証について』、事務局より説明をお願いします。

事務局

… 本日はよろしくお願ひいたします。
それでは、議事の（１）、「第１期「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果検証について」説明させていただきます。

まず、資料なのですが、右上に「資料１」と書かれたものです。まず、この資料は、総合戦略及び総合戦略アクションプランに掲載されている事業の平成 30 年度まで、計画期間の 4 年目までの実績値を基に、関連事業担当課において自己評価をし、先日 11 月 14 日に庁内の本部会議でとりまとめたものでございます。

それでは、説明に入ります。1 ページをお開きください。まず、「総合戦略効果検証について」でございます。

現在の本市総合戦略につきましては、平成 27 年度に国・県の総合戦略を勘案しながら、本市の特性や地域資源を生かす施策を盛り込み、それぞれの基本目標、施策及び事業に重要業績評価指数・K P I を定め、策定いたしました。これまで、K P I を意識しながら各課、また庁内横断的に連携しながら取り組んでまいりましたが、本年度、計画期間の最終年度を迎えております。

今回、4 年目である平成 30 年度の実績値等について効果検証を行い、来年度、令和 2 年度を始期とする第 2 期総合戦略の策定につなげたいと考えております。

次の囲みの中でございますが、進捗率の算出について記載をしております。進捗率につきましては、3 ページ以降の個別検証の中に出てきますが、まず、一つ目の計画期間の累計値を目標設定しているものにつきましては、実績値（累計）を目標値で割り 100 を掛け、算出しております。具体的に言いますと、3 ページの中段、青色の欄の①新規就農者支援事業、これの K P I は年間 2 人の認定新規就農者を 5 年間確保するというものですので、平成 27 年度から平成 30 年度までの実績値の累計 13 人を目標値の 10 人で割り、130% と算出しております。

1 ページに戻っていただき、二つ目が、基準値に対して数値を増加させるような目標を設定しているものでございます。

これは実績値から基準値を差引いた値を、目標値から基準値を差引いた値で割った値に 100 を掛けて算出しております。具体的に言

いますと、5ページの青色の欄の①水産振興資金貸付事業です。これのK P Iは漁業所得を平成 26 年度基準値の2億6千916万7千円を令和元年度に5億4千725万4千円に引き上げるという目標ですが、平成30年度実績値では、2億3千235万6千円と基準値よりも下がっているため、先程の計算式に当てはめ、-13.24%と算出しております。

また1ページに戻っていただき、次の囲みの中に進捗状況の凡例を記載しております。先程の計算式で得た進捗率に対して、AからEまでの5段階で記載しております。Aにつきましては、「目標達成または達成見込」として、現時点で目標値に対して進捗率が80%以上のものとしております。Bにつきましては、「目標達成に至らないが十分効果が発現している」として、50%以上80%未満のものとしております。Cにつきましては、「目標達成に至らないが多少効果が発現している」として、1%以上50%未満のものとしております。Dにつきましては、「目標達成に向けた効果が発現していない」として、1%未満のものとしております。最後にEですが、策定時には事業実施を目指してK P Iとして設定したものがありませんでしたが、事業実施に至らなかったことで、実績値の把握が不可能なものがございましたので、これをEとしております。

次に2ページをご覧ください。基本目標ごとに全K P Iの現状について、先程の進捗状況凡例に従い、集計したものでございます。

まず、「基本目標1の垂水市における安定した雇用を創出する」でございますが、全K P I27件のうち「効果が発現している」AからCまでの割合をあわせると、74.1%となっております。次に、「基本目標2の垂水市への新しいひとの流れをつくる」につきましては、全K P Iが20件のうち、AからCまでの割合を合わせると、65%となっております。次に、「基本目標3の若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」につきましては、全K P Iが18件、AからCまでの割合を合わせると、83.3%となっております。最後に、「基本目標4の時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」につきましては、全K P Iが14件、AからCまでの割合を合わせると、50%となっております。これらの結果から、個別に設定されているK P Iが過度な目標となっていないか、また逆に、容易な目標でなかったかなど、適正な数値であったかの検証も必要であると考えておりますが、客観的に見ます

と、「基本目標4」の成果が低かったようでございます。

続きまして、審議の進め方、検証の方法について、説明させていただきます。3ページ目からは、個別の現状を記載しておりますが、80項目と多く、一つひとつの項目を説明させていただくとすると、相当時間要することとなりますため、少し大きなくりの施策ごとに説明させていただき、その後、施策ごとに委員の皆様へ審議・検証していただきたいと考えております。

このような進め方でよろしいか、まず、ご審議をお願いいたします。

議長

… ただいま、事務局から説明がありましたが、審議の進め方につきましては、各基本目標の施策ごとに説明をいただき、それごとに委員の皆様へ審議・検証をしていただくという流れです。

ここまでの説明で、委員の皆様から、ご意見・ご質問はございませんか。

ないようですので、事務局の説明のとおり議事を進めさせていただきます。それでは、3ページ目の「基本目標1 垂水市における安定した雇用を創出する」から、事務局の説明をお願いします。

事務局

… それでは「基本目標1 垂水市における安定した雇用を創出する」から説明をさせていただきますと思います。

この基本目標のKPIは2つございまして、一つ目が「雇用創出数」を令和元年度の目標値累計110人にするのが目標でございました。これに対しまして平成30年度までの実績値を累計しますと113人で、進捗率102.73%となり、進捗状況をAとしております。

二つ目の「新規創業件数」5件と目標にしてはございましたが、実績の累計で11件。220%となりまして、進捗状況をAとしております。

次が施策になりますが、「1. 既存産業の育成及び経営安定化の推進」で一つ目が農林業の振興です。

この施策に対してのKPIも2つございまして、「農地所有適格法人数」を累計18法人確保する目標でしたが、実績の累計が18法人で進捗率100%。これに対して進捗状況をAとしております。

次に「認定新規就農者数」です。累計を10人と目標としておりましたが、実績値が13人となり進捗率130%。進捗状況をAとしております。

以下の具体的な事業のKPIにつきましては時間の関係上、お目通しいただければと思いますが、その中でいくつか説明をさせていただきます。

まず、「②新規作物推進事業」です。このKPIが「新規取組農家戸数」を累計25戸確保するものでございましたが、累計が6戸となっております。24%のCとしております。担当課の自己評価のところを見ていただければ内容は分かると思いますが、平成28年度から「ミシマサイコ」の試験栽培を行ってございました。これが薬用作物です。色々な課題から普及まで至らずに平成30年度から「パース

ニップ」という物の試験栽培の支援をしているところです。パースニップはセリ科の根菜、見た目が白色でニンジンに似ています。垂水市は降灰が多く、イノシシやサルなどの被害が多いため、この影響の少ない新規作物の要望が多いということで、引き続き生産者の支援を行っていきたいというふうには考えております。

次に「④6次産業化及び企業農業創出事業」です。これは先進地研修を5回、目標として立てていましたが、実績は1回、Cとなっています。自己評価の最後の部分を読んでいただければ分かると思うのですが、先進地視察は実施していないが、講師を垂水市に呼んで垂水市の加工グループ等を対象に研修会を行っているようです。

次に「⑥6次産業化推進組織設立事業」です。これは組織を設立することを目標にしておりましたが、今現在で未実施のDとなっております。ここについては農林課と水産商工観光課の連携調整を行って、農業者や事業者に対して食品加工・販路拡大等の6次化につながる取組の連携強化に努めているところでございます。

農林業の振興については以上です。よろしく申し上げます。

議長 … それでは、ここで以上の説明に対してのご意見、ご質問等いただきたいと思ひます。

A委員 … 道の駅はまびらがオープンしてからもうすぐで1周年ということで、南の拠点の発信力といったものを中心に6次産業へつなげていけたらと思ひている方は多いと感じています。やはり6次産業となるときかけ作りがだいぶ重要となってくると思うので、今、加工グループの方々を対象に研修等を行っていただいているということで、私にも案内がきていたりしたのですが、やっぱりそういったグループの確立というものも、裾野を広げるという意味で、大事になってくると思ひます。それぞれに作っている作物であったり、違いもでてきていると思うので選択肢の多さと、それをまとめる上で市役所の各課の方々のご協力がだいぶ必要になってくるのではないかなと思ひます。継続して、皆さんのお力を貸していただけたらと思ひます。

議長 … ありがとうございます。具体的な事業の⑥の意見でよろしいですかね。

A・Bの評価につきましては、これからそれぞれの審議そうなのですが、目標が達成していることが認められますので、それほど問題はないのかなと。

問題はC・Dというふうに評価をされているところでございまして、そこにつきましては、いろんなご意見をいただきながら、第2期にその意見を反映させていくという方向性と、二つ目にはそもそも取組自体に不備や問題があったのではないかと。D判定があったということは。

ですから、取組自体をもう一度見直して、新しく2期に取り組んでいただきたい。大きくCやDは2つの方向性があるというふうに思ひます。皆さんからのご意見を反映していただいて、とりまとめていききたいと思ひますが、ご意見やご質問が、この場に出ないという項目に対しましては、今言った2つの方向性を反映させる。今回

のご意見を踏まえて2期に反映させる方向性と、取組自体をしっかりと見直していただきたい、という方向性ですね。このどちらか2つの方で最終的には委員長に一任していただいて、私のほうでこの表の「審議会意見」と赤で欄があるのですが、そこに書かせていただきたいと思います。

後ほど事務局の方からもご説明があるかと思いますが、とはいえこのような短い時間で全部は無理かと思しますので、今日説明を伺ったあとで持ち帰っていただいて、後日それぞれの項目につきまして、CとDについてしっかりとお目通しいただきまして、また後日に意見をお出しいただいてもいいかなと思っております。

それよりまた私のほうで反映させたかたちで全体の作成を行わせていただければと思います。よろしいですかね。

なかなか時間が少ないもので、説明を進めながら可能な限りでご意見等いただければと思います。それでは次の項目に進みたいと思います。お願いします。

事務局

… 続きまして、水産業の振興になります。資料は5ページからです。K P I の施策につきましては「国内・海外商談成立件数」を累計25件としておりました。実績の累計につきましては32件ということで、進捗率128%のAとしております。

二つ目の「漁業所得」を令和元年度に1,217,569千円に引き上げるという目標でしたが、30年度の実績値は828,486千円となっております、基準値よりも下がっているということで-251.51%のDとしております。

事業のK P I ですが、まず「①水産振興資金貸付事業」でございます。今日は両漁協の参事の方にもご出席を頂いておりますが、漁業所得の向上、垂水漁協は令和元年度で547,254千円という目標を掲げておりましたが、30年度の実績値が232,356千円となっており、-13.24%のDとしております。牛根漁協につきましては1,123,429千円としていましたが、実績値が596,130千円となっており、-84.55%のDとしております。自己評価の中にありますが、魚価平均につきましては、多少上がってきているところですが、特に飼料や燃料費が高騰していて、所得がなかなか上がらないような状況でございます。この事業を活用して両漁協の経営安定を目的に資金の貸付を行うことで、運営は順調に展開されているようです。

次に6ページの「④6次産業化推進組織設立事業」ですが、これは農林のほうでも掲げてありますので重複して再掲としていますが、先ほど申しました農林課と水産商工観光課で連携をして、これからの協議を継続的に続けていきたいという風な考え方でございます。水産業の振興に関しては、以上です。

議長

… ただいまの水産業の振興について何かございませんでしょうか。

B委員

… 市の方からは毎年、水産振興資金等でお世話になっているところでございますが、今、魚の価格もここにありますが、多少はあがってはいるのですが、それと同時に餌も高騰して、安い単価で仕入れられれば、それだけ所得もあがるのでしょけれど、なかなか難

		しい状況でございます。販路拡大につきましては、県並びに市の協力をいただき、新年度徐々に増やして、続けていきたいと思っております。
C委員	...	牛根漁協も養殖自体は垂水さんと変わらないのですが、やはり餌の高騰を危惧しております。カンパチは単価が上がってきているのですが、ブリは今年度、例年より下げの感じであります。また販路拡大のほうであります。輸出は多いのですが、商社なんかは海外のほうに出ておまして、現地の方を雇っている状態でありまして、東南アジアのほうはどうなるか。うちの方でも漁協で動くというよりも商社のほうが先を走っている。それに合う魚を作っていくように努力している次第であります。
議長	...	ありがとうございます。その他についてはよろしいでしょうか。それでは先ほど説明させていただいたような形で、最終とりまとめはさせていただきたいと思っております。それでは次をお願いいたします。
事務局	...	<p>続きまして、商工業の振興ということで7ページをお開きください。</p> <p>この施策のK P Iにつきましては「物産展等における商談件数」の累計を25件と掲げておりましたが、実績値累計では26件となっており、104%の進捗状況Aとしております。二つ目の「商工業の新規就業者数」の目標値を累計25人としておりましたが、実績値累計は30人となり、120%の状況はAとしております。</p> <p>具体的な事業のK P Iにつきましては「③創業支援事業計画策定事業」に関しましては計画策定に至っておりませんが、商工会におきまして起業家スタートアップ支援事業というような事業がございまして、これを活用しまして新規企業への支援を行っているということです。</p> <p>今後この計画策定に向けて商工会と連携しながら検討をしていくということになっております。</p> <p>商工業の振興については以上になります。</p>
議長	...	ありがとうございます。こちらについてはいかがでしょうか。よろしいでしょうかね。それでは次に進めさせていただきます。
事務局	...	<p>それでは8ページをご覧ください。ここは施策が2と3の2つあるのですが、少ないので一括して説明をさせていただきたいと思っております。</p> <p>「2. 地域資源を生かした創業支援・企業誘致の推進」ということで一つ目のK P Iは「創業・企業誘致相談件数」は累計25件と掲げておりましたが、実績値の累計でいきますと11件。進捗率44%の進捗状況をCとしております。二つ目の「創業・企業誘致の雇用数」は累計75人を目標にしておりましたが、実績値の累計は70人ということで、進捗率93.33%の進捗状況Aとしております。</p> <p>次に「3. 魅力ある「しごと」づくりの推進」ということで施策のK P Iが一つ目「特定資格取得者数」です。累計を25人としておりましたが、備考のところに※4とございます。23ページにコメントとして載せてあります。総合戦略を策定する時に医療・福祉関係の資</p>

格取得者等の助成制度の構築を目指したものでしたけれども、実際構築に至らなかったため実績値の把握が不可能ということでEとしております。二つ目のK P Iが「職場などで女性が不当な扱いをされていると思う人の割合」で平成 26 年度の基準値が 37%でございました。それを 25%に引き下げるという目標でしたが、実際の実績値が 56%で、進捗率が-158.33%のDとしております。これも注意書きがありまして※5とあります。24 ページをお開きいただきまして、※5のところですか。この数字は男女共同参画に関するアンケートを基に出しているのですが、まず基準値が 26 年度のアンケートの実施した時の数値でございます。平成 30 年度の数値が 30 年度のアンケートの数値なのですが、同じ項目がなかったものですから、類似項目の割合をここに掲載しております。「職場などで女性が不当な扱いをされていると思う人の割合」と 30 年度に実施した項目が「職場の中で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。」というところで、「1. 男性が非常に優遇されている」が 14%と「2. 男性がどちらかといえば優遇されている」が 42%を合わせた 56%というのをここに記載しておりますので、なかなかここに関しては検証が難しいところではございました。

具体的な事業のK P Iにつきましては「①地域若者「就地」拡大プロジェクト事業」です。本事業による雇用創出数を累計 20 人としておりましたが、実際状況は 6 人の進捗状況はCとなっているところですが、ただし、この事業を継続することで成果が上がるというふうに考えられることから、これからも内容を一部見直し、取組を発展させながら継続させたいというふうに考えております。

地域資源を生かした創業支援・企業誘致の推進と魅力ある「しごと」づくりの推進については以上です。

議長 … ありがとうございます。8 ページの 2 つの目標についてご意見等ございますでしょうか。

副会長 … この企業誘致とかについては、パーセンテージ的な目標はC判定なのですが、それでも 11 件と実績があるので、他のやつでも新規就農もそうですが、他の企業が入ってきたとか新規事業の人たちが増えたということもアピールして行って、垂水市は色々な取り組みをしていることを知ってもらって、利用者とか結果に繋がるように施策を打っていただきたい。

そして3の地域若者「就地」拡大プロジェクト事業は、私も参加をさせていただいて、垂水高校には過去3年、1年に1回ですが授業というか、ディスカッションみたいなものを行って、学生の皆さんも色々興味を持っていただいて、先日も1年生の時に授業を行った子が3年生になった子達に会ったのですが、専門学校に行くということだったのですが、将来的に垂水に帰ってきてね、と話もして着実に「あの時ああでしたよね。」と覚えていてくれて非常に嬉しいことがありました。国際大学でも出前授業というか、1回90分話を

させていただいて、僕も非常に勉強になったし、90分授業するのは先生たちも大変だなと改めて思ったのですが、いい経験になったのではないかなと思います。

それと垂高生の1年生に向けて話をしたのですが、垂高への支援という面においてもいろんな政策をしているのですが、中学生、垂高への進学率が垂水小・中学校以外が少ない気がしたので、こういった取り組みをしているということを垂中にも広げていく必要があるのかなと思いました。

議長 …… ありがとうございます。他にはよろしいでしょうか。
それでは次の項目をお願いします。

事務局 …… 続きまして9ページをお開きください。
ここからが「基本目標2垂水市への新しいひとの流れをつくる」ということで、基本目標に対してのKPIは一つ目が「総交流人口」これを年間200万人に増加させるというものでしたが、平成30年度の実績値は148万人ということで、進捗状況Cとしております。二つ目が「社会増減数」です。転入者から転出者を差し引いた数字になりますが、年間▲100人以下というのを目標にしておりましたが、これに対して▲77人ということで進捗状況をAとしております。

次の施策一つ目が「1.魅力的な観光資源を生かした多様な交流の推進」この施策に対してのKPIが「メディア情報発信件数」60件を目標にしておりましたが、実績値が55件となっており、進捗状況をBとしております。

次の「教育旅行受入校数」です。年間40校と目標を掲げておりましたが、30年度実績で14校ということになっており進捗状況をDとしております。

具体的な事業のKPIにつきましては一つ目の「①南の拠点整備事業（ハード部門）」です。これは交流人口、先ほども副市長のごあいさつでもありましたが、80万人増加させる目標でございましたが、30年度実績値が25万人増となっており、進捗状況Cとさせていただいております。これは平成30年11月に道の駅がオープンしたということで、まだ4ヶ月ほどの集計でございます。令和元年度9月末時点の来場者数が37万人ほどとなっておりますので、ここはまた令和元年度には数値が上がってくるものと考えております。

次に10ページの「⑤民泊推進事業」です。「民泊受入数」が年間20校、それと人数にして2,400人という目標を掲げておりましたが、30年度実績は13校と2,200人となっており、進捗状況Dとしております。これが平成28年度に熊本地震で九州地方への旅行者関係が減ったことで数値が落ちているのですが、その後、年々増加している傾向でございます。

1の魅力的な観光資源を生かした多様な交流の推進についての説明は以上です。

議長 … ありがとうございます。いかがでしょうか。だいたいCやDのところについてご説明いただいているのですが、何かご意見・ご質問等ございますでしょうか。

副会長 … この南の拠点整備事業なのですが、数年前のこの審議会でも最初にこの話が持ち上がって、私は現地スタッフにはいけなかったのですが、そういったことで話は進められて、昨年開業して1年を迎えるのは非常に感慨深いなと思うところでありまして、温泉が出来るのではないかと話もあったのですがいろんな事情で今のところできてはいませんが、可能性としては温泉ができれば滞在時間も増え、全体的な売上も伸びるのではないかと思いますので、商社に委託されていますので、そちらとも連携をして取り組んでいただければと思います。

また、レストランも垂水のものを中心にされているようなのですが、私がよく聞く声なのですが、休みが多いという声を良く聞きます。これは契約上、どうなっているのか分かりませんが、これは商社が指導するのか、市が指導するのか分かりませんが、それも連携をとっていただいて、牛根のほうは年中無休、正月くらいは休みなのかもしれませんが、あそこは道の駅本体が事業をしているのではなくてテナントというかたちで入っているとは思っているのですが、一般の方からすれば道の駅が運営していると思われていて、せっかく行ったのに閉まっていることが結構あるということを知りまして、そこは改善点なのかなと思います。

また、フェイスブックやインスタグラムを当初されていたのですが、今は止まっている状況ですので、やはりマリン施設さんも出来たし、若者を中心にそういったSNS発信は必要なもので、それも商社に指導をするのか、どういった形になるのか分かりませんが連携をとって進めていただければと思います。

議長 … ありがとうございます。南の拠点はひとつの目玉事業でございますので、今年グランドオープンしたばかりで時間も経っていないということなので継続的にみていきたいと思いますが、今おっしゃられたような、いろんな評判も私のほうにも届いておりますので、是非ここは改善させるところは改善してほしいですね。

それでは次に進めさせていただきたいと思います。

事務局 … 続きまして12ページをお開きください。「2.積極的な移住定住対策の推進」ということで、この施策に対してのKPIが「転入者数」年間600人を目標に掲げておりますが、平成30年度の実績値を見て見ますと465人となっており、進捗率が-107.69%の進捗状況がDと

なっています。

二つ目が「空き家バンク登録件数」です。これは累計 100 件を目標にしております。実績値の累計にしますと 125 件となっており、状況を A としております。

具体的な事業の K P I ですが、「③民間資金活用集合住宅建設促進事業」につきまして、これは市内各地区 1 箇所支援実施という目標を掲げております。垂水市内は全部で 9 地区ございますが、実績値を見てみますと、中央地区で 8 箇所と中央地区に集中している状況でございます。未建設地区での支援実施開始を目指し、引き続き周知活動等を図るということにしております。

積極的な移住定住対策の推進については以上です。

議長 … ありがとうございます。この点につきましてはご意見等、いかがでしょうか。

③なのですが、この進捗率の結果なのですが、各地区 1 箇所ということですね。これはいろんな箇所でやられていると思うのですが、どういう計算で 22.22% になったのでしょうか。

事務局 … この計算は目標が各地区 1 箇所ということで、9 地区で実施をするという目標でございました。ですので、実績でみますと、中央地区と新城地区の 2 地区ということで、こういう計算をさせていただいております。

議長 … ありがとうございます。件数ではなく、地区の数ということですね。

他にはよろしいでしょうか。では次の項目に移らせていただきます。

事務局 … 続きまして、14 ページをお開きください。

ここからが「基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」ということで、基本目標の K P I の一つ目が「出生数」累計 600 人を目標に掲げております。30 年度までの累計を見ますと 325 人ということで、進捗状況 B としております。

二つ目の K P I ですが「生涯未婚率」です。男性 20%、女性 10% を目標としておりましたが、実績数値が平成 27 年度までしか出ていませんが、男性 31.2%、女性 19.5% ということで、状況は D としております。

次に施策「1. 結婚・出産・子育てしやすい環境づくりの推進」ということで、「(1) 出産・子育て環境の充実」でございまして、具体的な施策の K P I 一つ目が「子育て支援センター利用数」ということで年間 9,708 人を目標に掲げております。平成 30 年度実績で言いますと 7,280 人ということで状況を B としています。

二つ目が「放課後児童クラブ登録者数」です。これは年間 117 人

を目標にしておりますが、123 人という実績で状況を A としております。

具体的な事業の K P I につきまして、「①不妊治療助成事業」です。目標が不妊治療助成者数、累計 40 人としておりますが、実績値累計でいきますと 16 人となっており、状況を C としております。これは市の助成を受けるために県の助成を受けている必要があるということ。あと見てみますと、28 年度から年々助成者数が増加しているということと、今後も広報を継続していく方向でございます。

次に 15 ページをお開きいただきまして、「⑤子育て支援センター事業」です。これの K P I が子育て支援センターのサービス利用者数です。これも先ほど施策の K P I でもありましたが、年間 9,708 人ということで目標を立てております。状況としては B ですが、実績値を見ていただきますと、年々増加している傾向にあります。

この施策に関する説明は以上になります。

議長 … ではただいまの説明についてのご意見等ございませんか。

A 委員 … ①の不妊治療助成事業についてですが、不妊治療はやはり女性だけあるものではなくて、男女ともに原因がなかなか分からないことがあって、不妊治療を受けたいから助成を受けにくい選択だけではなくて治療特化だけではなく、その方々のサポートを目的に相談する窓口等もあればよりそういった事業の活用もする方は取り組みやすいと思うので、そういったサポート的な体制も整えていただければいいのかなと思います。それが周知につながっていくのではないかなと思います。

議長 … ありがとうございます。夫婦でのカウンセリングのところからいろんな支援があれば、つながっていくのではないかと、ということだと思います。よろしいですかね。では次にいきましょうかね。

事務局 … では次の施策の説明になります。16 ページをご覧ください。「(2)教育環境の充実」ということで施策の K P I が一つ目は「将来の夢や目標を持っている子の割合」これの目標値が 85%でございますが、30 年度の実績値 83.1%となっており、進捗状況 C としております。

二つ目の「学校での出来事を家の人と話す子の割合」これの目標値を 80%としておりますが、30 年度実績値 75.4%となっており、状況を C としております。

具体的な事業の K P I としては、まず「①垂水高等学校振興対策事業」です。入学者の定員充足率を 85%と目標を掲げておりますが、平成 30 年度実績でいきますと 57.5%となっており、状況を D としております。先ほど宮下委員からもありましたが、生徒の様々な活動に対しての支援や、中学生に対して 3 年生を垂水高校に招いて学

校説明会を実施するなど、入学者確保を図っているところでございます。今後も魅力ある学校づくりを行い、入学者の確保に繋げていきたいというふうに考えております。

次に「③ICT教育環境整備事業」でございます。ICT支援員の活用による職員研修というものを目標に掲げておりましたが、これが27回、これに対して30年度実績が3回ということでCとなっております。市内の小・中学校にパソコン・タブレット端末を整備したところでございます。これを活用する為にICT支援員による研修会を実施すると目標に掲げていたところでございますが、これまでの研修成果を基に支援員を活用せずに、校内での研修へと徐々に移行しているため、ここの進捗状況はCとなっております。

この施策に関する説明は以上です。

議長 … では、ご意見・ご質問等ございましたらお願いいたします。

副会長 … 先ほども言いました、垂高支援を継続して続けていってほしいのと、私がチラッと聞いたのが高隈地区とか輝北地区、学区が違うのですかね。そこまで垂水と離れていないのに学区が違う。その地区の人たちの中で垂高に行きたいと声もありますので、学区のことに関しては県との兼ね合いもありますので、なかなかかとは思いますが、裾野を広げるという意味でも学区制の見直し、そういったのも何かしらアプローチができればいいのかなと思います。

それと中学校への働きかけ、招いたりして交流はあるということですが、進学ということは中学3年生本人の意向もあります、親へのアプローチが今後必要になってきて、親の後押しもあって垂水高校へ行きたいなということもあると思うのでそういったのも必要なのかなと思います。

それと「③ICT教育環境整備事業」ですが、離島とかはインターネットを使って3Dみたいなかたちで、遠隔の地から授業を行って、他の小・中学校と交流をしたりとテレビで見たことがあったので、そういった通信事業者等にも働きかけて、最新のITを使った事業を垂水市でも行ってもらえないかと働きかけをして、あちらのほうはデータを取ったりして活用して、こちらとしては最新のITを子どもたちが体験できるような取り組みを、なかなか夢のようなことではあるのですが、そういった事業をしたり、アプローチをすることも大事なのかなと思います。

議長 … ありがとうございます。よろしいでしょうか。
では次をお願いいたします。

事務局 … それでは18ページになります。
「2.若年層が暮らしやすい環境づくりの推進」、この施策のK

P I が「若年層サポート事業数」で年間に 3 事業と目標に掲げております。これに対しての平成 30 年度の実績が 2 事業ということで B としております。

具体的な事業の K P I につきましては「②結婚新生活支援事業」です。支給対象世帯数を累計を 60 件と目標に掲げておりましたが、実績値の累計は 8 件となっており、進捗状況を C としております。ただ、実績を見ていただきますと分かりますように、年々と件数は増加しているようです。これからも制度の周知を図るとともに、制度を改善するというふうにも担当課の評価にもございます。

この施策については以上です。

議長 … ありがとうございます。ここについてはいかがでしょうか。よろしいですかね。では次にお願いします。

事務局 … では 19 ページをお開きください。

ここからは「基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する」と、基本目標の K P I につきましては一つ目が「全事業所売上高」です。

二つ目は「今後も住み続けたいと思う人の割合」です。目標を 50% 以上と掲げておりましたが、これは 28 年度の実績値が 44.1% となっており、進捗状況を D としております。

施策 1 「垂水に合った DMO 導入の推進」です。この施策に対しての K P I が DMO 関係の説明会等の開催回数で、目標値を累計 20 回としておりましたが、未実施であったため、状況は D としております。ここにつきましては DMO づくりの推進から本市においては地域商社の設立へ方向の転換がありまして、実際に地域商社の設立をしております。そのため DMO に関しては未実施となっております。

具体的な事業の K P I につきましては「①南の拠点整備事業(ソフト部門)」でございます。商品開発メニューへの取組数を累計 40 事業としておりましたが、7 事業の進捗状況を C としております。これは道の駅たるみずはまびらにおいての 6 次産業化の人材育成と事業実施をしておりましたが、今後、垂水未来創造商社が道の駅の運営をしていることから、今後は商社の方へ、この事業は移行していくものと考えております。

二つ目の「②「大隅はひとつ！」大隅広域観光推進事業」です。これの K P I が延べ宿泊者数 489,674 人と目標値はなっておりますが、これが大隅全体の数です。実績値が 432,500 人ということで、進捗状況を C としております。ここは(株)おおすみ観光未来会議で大隅地区全体の観光の戦略作成等しております。今後も広域的に連携し、観光効果を高める事業を継続実施したいと方向性を持っており

ます。

ここに関しては以上です。

議長

… ありがとうございます。いかがでしょうか。厳しい評価のCとDしかないということが大きかったのかなと思いますけども。

例えば基本目標のK P Iなのですが、28年度の実績値で評価ということになっているのですが、こういうものは元年度の実績値が出てきて評価ということになるのか。それともこのかたちでそのまま行くのか。他にもいくつかあったと思うがどうなのでしょう。

事務局

… 現在の総合戦略の戦略期間というものが平成 27 年度から令和元年度となっておりますので、令和元年度の実績値が出た段階でそれをまた検証していただき、そこで第 1 期の検証の終了というふうに考えております。

議長

… ありがとうございます。他になかったでしょうか。

副会長

… この南の拠点事業のソフト部門は私も参加させてもらって、様々な、ペース的には月に1回とか、もう少し間隔もあったりしたと思うのですが、非常に勉強になることもあり、良かったと思います。仙巖園の視察に行ったり、講師を受けたりして、とても役に立つこともありました。

先ほども南の拠点の話も少しでたのですが、新規就農者の方、新規商業者の方へも出荷をしていただくようなことを働きかけ、私、道の駅の出荷社協議会の会長をさせていただいているのですが、地元の出荷者さんがなかなか増えないというところもありまして、そこも問題視しているところで、新規農業者の方、新規商業者の方の情報を把握している商工観光課とか農林課の方々とか商社と連携をして、ぜひ新しくできた道の駅にも出してもらえないか。

新規就農者の人たちは特に意欲のある方が多いと思いますので、そういった働きかけをしていただきたいなと思います。

議長

… ありがとうございます。では次のほうにお願いいたします。

事務局

… それでは次は 20 ページになります。「2. 安心して暮らせるまちづくりの推進」ということで、この施策のK P Iにつきましては一つ目が「地域振興計画の取組事業数」累計 100 事業を目標に掲げておりましたが、実績累計でいいますと 71 事業の進捗状況を B としております。

二つ目の「垂水ほっとメール登録者数」です。目標値を 3,000 人としておりましたが、30 年度実績値は 816 人というふうになっており、進捗状況は D としております。

具体的な事業のK P Iにつきましては、21 ページをお開きくださ

い。「④建築物耐震改修促進事業」とございます。これのK P Iは耐震改修及び耐震診断で、それぞれ累計3棟と15棟と目標を掲げておりますが、実際これまでに実績がございません。垂水市においては地震が少ないということなど、あとは台風が多いので住宅リフォームの傾向があるということです。耐震化というのも大事なことです。今後も耐震化が進むようにさらに周知を図ってまいりたいと考えております。

次に「⑤地域包括ケアセンター整備事業」です。これのK P Iが介護保険サービス利用者に占める在宅サービス利用者割合です。62.5%を目標にしておりますが、平成30年度実績値は55.20%ということで状況をDとしているところです。在宅サービスの利用の推進ということなのですが、在宅サービス利用には体制が整わないと出来ない難しい面があるということです。ケアセンターについても人材の確保に苦慮をしているのが現状です。ただし今後も地域支援事業の充実を図れるように取り組んでまいりたいと考えております。

ここに関しましては以上です。

議長

… ありがとうございます。これについてはいかがでしょうか。よろしいですかね。

それでは最後になります、22ページの「地方創生拠点整備交付金事業」について、事務局の説明をお願いします。

事務局

… ここに関しましては総合戦略に直接載せているものではございませんが、「地方創生拠点整備交付金」というものを活用して作った施設でございます。交付金に対して検証をしなければならないこととなっておりますので、本審議会で検証していただきたいということで、ここに載せております。

「地方創生拠点整備交付金事業」、これは平成29年度に実施したのものになります。

まず一つ目の施設整備計画の名称が「道の駅展開エリア内における海洋スポーツを活用した交流人口創出施設整備計画」となっております。

二つ目の事業概要ですが、鹿屋体育大学と連携し、錦江湾の豊かな海洋資源を活用したSUP、カヌーなど多様なマリンスポーツに触れ合う場所として施設整備を進めるとともに、スポーツ経営の観点で現地拠点の経営について指導を仰ぐことで、収益性を重視した施設運営を実施するものとしていました。

次に施設の名称でございます。マリンスポーツ施設「マリンマークたるみず」です。施設の場所は浜平地区です。事業費が111,408,864円、この内交付金額が52,219,085円。この交付金を活用して整備し

ております。

この事業の具体的なK P I です。

一つ目は「利用人数」です。令和2年度目標値で累計2,400人と目標を掲げております。

二つ目は「整備対象施設における雇用人数」です。雇用を創出するという意味で令和2年度の累計で11人雇用するという目標を掲げております。

三つ目は「教育旅行受入校数」を累計30校の受け入れを目標に掲げています。

これに関しまして、平成30年度までの実績値で言いますと、一つ目「利用人数」0人、二つ目「雇用人数」1人、三つ目「教育旅行受入校数」0校となっております、理由に関しましては、平成30年度は開業をしておらず、本施設につきましては、令和元年5月に開業をしたため、雇用だけ30年度に1人雇用した実績になっております。開業から5ヶ月間の9月末現在の利用人数は1,140人、雇用人数が2名の実績がございます。

これに関しては以上です。

議長

… ありがとうございます。これに関しては、まだスタート地点に立っていないということなので、特に評価をするような状況にもないというふうにも思っております。ということで、仕方がないのかなというところですね。令和2年に達成できることに期待をしたいと思います。

一通り終わりましたが、先ほども申しましたように、短い時間ですので、なかなか言い足りないところもあると思います。各項目の審議会意見というものをして、最終的に完成させるものですのでA及びBの評価につきましては、私の方でもう一度精査しますが、「地方創生に効果があった」というふうな意見とさせていただきたいと思います。本日、審議いただきましたC・Dの項目につきましては、本日いただきました意見と、今週いっぱい、時間が短くて恐縮なのですが、今週の金曜日までに追加で、ご意見等頂いて事務局のほうに協議いただいた上で、それを基にしまして私のほうで2期に反映させるべきところ、継続的に反映させたいというものと、今の説明で色々ありましたが、他の事業と重複しているところ、そういったこともありましたので、取り組みから見直して、2期に向けて見直していただきたいというようなことと、大きく分けると二つくらいの色分けでさせていただきたいと思います。最終的な案を私のほうで作りまして、事務局の方から委員の皆様へ送付していただきまして、最終チェックを皆様のほうでしていただき、ご確認いただいた上で、提出するというような段取りで進めさせていただきたいと

思います。事務局のほうもそれでよろしいでしょうか。(はい。の声)
それではこの議題については、以上でよろしいですか。

続きまして審議事項(2)の『第2期「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定について』、事務局から説明をお願いします。

事務局

… それでは、議事(2)、「第2期垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について」説明させていただきます。

資料2の1ページをお開きください。改めて、第1期総合戦略の概要から説明をさせていただきたいと思います。

まず、(1)策定根拠でございますが、人口減少への歯止め、東京圏への人口の過度な集中の是正、それぞれの地域で住みよい環境の確保、いわゆる「地方創生」を成し遂げるために、国は平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」を公布し、国の「第1期総合戦略」を策定しております。本市の総合戦略は、法第10条の規定により、国及び県の総合戦略を勘案して、本市の実情に応じた基本的計画として策定したものでございます。

次に、(2)計画期間につきましては、平成27年度から本年度までの5か年となっております。

次に、(3)総合計画との関係につきましては、まず、総合計画は10年を計画期間とした、本市の最上位計画でございます。第4次総合計画においては、平成25年度から、後期基本計画に「人口減少対策」を盛り込み、平成27年度から移行する形で、総合戦略関連事業に取り組んでまいりました。平成30年度からの第5次総合計画においては、重点プロジェクトに位置付け、「雇用の創出」、「定住の促進」、「子育て支援」等の施策に取り組むこととし、整合性を図りながら、策定しております。

次に、(4)総合戦略の構成につきましては、人口ビジョンを踏まえた上で、4つの基本目標ごとに、基本目標を実現するための「講ずべき施策に関する基本的方向」と「具体的な施策と重要業績評価指数(KPI)」を定めております。

次に2ページをご覧ください。

「(5)策定・推進体制と進捗管理」につきましては、まず、市長を本部長とする庁内の「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略本部」を中心に、外部有識者で構成する、この「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」と連携しながら、実現に努めるものとしております。また、本部において内部検証、審議会においては、先

程、審議していただきましたが、外部検証を行っていただき、PDCAサイクルによる検証を行い、必要に応じて見直しながら、より効果的な取組となるよう努めるものとしております。

まず、「①本部会議」につきまして、設置目的は、いわゆる地方創生の全庁的な施策推進を図ることを目的としております。所掌事務につきましては、総合戦略の策定、人口問題対策の総合企画、調整に関することとございます。構成員につきましては、本部長に市長、副部長に副市長、教育長、そして各所属長が本部員として、構成されております。

②のこの審議会につきましてですが、設置目的は、人口ビジョン及び総合戦略を推進していただくことを目的としております。所掌事務につきましては、総合戦略の策定に関して調査、審議していただくこと、また、実施状況の評価、推進に関して市長に意見を述べていただくこととございます。構成員につきましては、学識経験者、各種団体の推薦者、その他市長が認める者で、現在の委員数は15名で構成されております。委嘱期間を2年間とし、再任を妨げないとしております。

3ページをお開きください。

現在の本審議会委員の名簿を掲載しております。産・官・学・金・労の連携を図るため、それぞれの立場の方々にご参加していただいているところでございます。

次に4ページをご覧ください。

ここからが第2期総合戦略の策定に関することを記載しております。こちらが、国が示しております図になりますが、第1期総合戦略が2019年、本年度が5年目で最終年度となり、第2期総合戦略で地方創生の次のステージに取り組んでいくということになります。

下段の右側に今後のスケジュールとありますが、今年6月に国の基本方針2019が策定されました。これに基づき、12月に第2期総合戦略が策定される予定です。この12月に示す国の第2期総合戦略に基づき、地方公共団体は、地方版総合戦略を策定することとなるため、現在、県及び各市町村が策定に向けて、動いている状況です。

それでは、5ページをお開きください。

ここからが、本市の第2期総合戦略の策定方針についてでございます。まず、「(1)基本的な考え方」でございますが、先程の第1期

の検証結果を踏まえ、国や県の策定方針などを勘案し、本部会議での協議、審議会での審議を経て、第2期の総合戦略を策定したいと考えております。国の基本方針におきましては、「継続を力にする」という姿勢で、第1期の4つの基本目標の枠組みを維持しつつ、新たな視点に重点を置いて施策を推進するとされているため、本市におきましても、第1期の4つの基本目標を維持しながら、必要な見直し・充実を図り、新たな視点を取り込み、第2期総合戦略を策定したいと考えております。中段に第1期総合戦略の4つの基本目標を記載しております。この4つの基本目標を、第2期総合戦略においても維持しながら、下に記載しております、国の示す新たな視点を盛り込んでいきたいと考えております。

まず、1つ目が「地方へのひと・資金の流れを強化する」でございます。その中で「関係人口」の創出・拡大と企業や個人による地方への資金の流れの強化とあります。「関係人口」につきましては、これまでの「交流人口」を一步踏み込んだ形で、地方に関係を持っていただく人を創出・拡大しようとするものです。企業や個人の資金につきましては、企業版ふるさと納税や個人のふるさと納税の活用を強化しようとするものです。

次に、「新しい時代の流れを力にする」につきましては、Society5.0の実現に向けた技術の活用、SDGsを原動力とした地方創生とあります。Society5.0につきましては、IoTやAIを活用し、情報社会の課題の克服や快適な社会を実現しようとするものです。SDGsにつきましては、国際目標である持続可能な開発目標ですが、17のゴールが地方創生の推進と合致しているもので、この目標も活用しながら地方創生を推進しようとするものです。ここについては、なかなか聞きなれない言葉ですので、9ページにそれぞれの概要を掲載しておりますので、後もってお目通しいただければと思います。

次に「人材を育て活かす」につきましては、地方創生の基盤をなす人材とあります。地域の担い手や各分野での中心となる人材の掘り起こしや活躍の支援をしようとするものです。

次に「民間と協働する」につきましては、NPOや企業との連携とあります。行政のみで解決できない課題など、民間活力の観点で、NPOや関係企業と連携しようとするものです。

次に「誰もが活躍できる地域社会をつくる」につきましては、女性、特に人口の自然増を図るためには、若い世代の女性の定住が重

要であること、また、元気な高齢者、障害者の居場所の確保、外国人につきましては、国内の労働力不足の解決など、法改正により、外国人が働きやすい環境となっているようですので、外国人材の確保も重要となってきております。

最後に「地域経済の視点で取り組む」につきましては、地域全体での経済の活性化を図ることで、持続可能なまちづくりを図っていかうというものです。これらの視点を、本市の特性に合った取組として、庁内でも協議しながら、総合戦略に盛り込んでいきたいと考えております。

次に（２）垂水市人口ビジョンについて、でございます。

現在の人口ビジョンは、国の長期ビジョンと同様に 2060 年までを対象期間としております。人口ビジョン自体にも、原則 5 年ごと掲載データの更新等を行うものと記載しておりますが、平成 30 年度からの第 5 次総合計画と、この総合戦略において、各種施策を講じることで持続可能なまちの実現としての目標を掲げているため、今回、見直しは行わず、今後、2020 年、2025 年になった時点で、人口移動の実績を見て、ビジョンと実績の乖離などがあれば、時点修正などの必要な検討を行いたいと考えております。

下記には、人口ビジョンと国立社会保障・人口問題研究所の推計の表とグラフを記載しております。グラフを見ていただきまして、社人研の公表した推計値は、一番下の灰色の線です。垂水市の人口ビジョンの数値は、青色の線です。各種施策を講じて、この曲線に持っていこうという目標でございます。

次に 7 ページをお開きください。

策定スケジュールを掲載しております。年度内、3 月末の策定を目指したスケジュールになっております。赤色の列が、本審議会のスケジュールでございます。11 月 18 日、本日の審議会において、第 1 期総合戦略の外部検証を行っていただき、ただいま、第 2 期総合戦略策定についてご説明させていただいております。その後、11 月 20 日から 22 日までに第 2 期総合戦略に向けた関係各課のヒアリングを実施し、12 月上旬に原案をとりまとめたと考えております。その原案を 12 月上旬に庁内本部会議で協議し、12 月中旬に本審議会において、審議をお願いする予定としております。その後、各種手順を踏まえ、1 月に市民の声を聞く、パブリックコメントの期間を設け、この間に意見等がありましたら、2 月上旬に意見を反映し

た最終案をとりまとめたいと考えております。その最終案を、2月中旬に本部会議で協議し、2月下旬に本審議会で審議していただく予定としております。その後、庁内の会議で最終承認をいただき、市議会に第2期総合戦略の説明を行い、3月末に公表したいと考えております。

8ページには、庁内各課ヒアリングの日程を掲載し、9ページには先ほど申しましたソサエティ5.0とSDGsの概要を掲載しております。

以上で、審議事項(2)の「第2期「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定について」説明を終わります。

議長 … ただいまの事務局の説明につきまして、質疑等ございますでしょうか。スケジュールもよろしいですかね。

この短い時間に進めるとまとめが大変なのですが、何もご質問等ないようでしたらこれで、このかたちでこの策定方針に沿って作業を進めるようお願いしたいと思います。

それでは審議事項(3)その他で何かございませんか。

事務局 … すみません、その他で事務局からなのですが、先ほどの第2期の策定についてのところの「(3)策定スケジュール」7ページのところで説明をさせていただいたのですが、「次回の審議会の日程について」でございます。予定としまして12月16日の午前に開催をしたいというふうに調整をしておりますので、お知らせをいたします。

またここで都合の悪い方がいらっしゃったら、ご連絡をいただければと思います。よろしく願いいたします。

議長 … その他、何かございますか。

第1期のまとめがございましたが、全体的に言って、市としてやるべき事をやっているのだろうと思いました。ただ、経済状況、世界状況とか見まして、なかなか難しいこともあると、全体的にはそういう印象でした。

本日検証いただきました、第1次総合戦略の効果検証、今週中にご意見を頂くということなのですが、ご意見を頂いて第2期総合戦略策定作業をこれからも着実に進めていただきたいと思います。

この言葉を使うと怒られるのですが、「身の丈にあった」が大事で垂水の必要に応じたことを着実にやっていくことも大事なのかなと思いました。

ぜひ、第2期も戦略策定を我々もしていきたいと思っておりますので、市の方もよろしく願いしたいと思います。これで本日の審議を終了したいと思います。

それでは、議長の任を解かせていただき、事務局にお返しします。

企画政策課長 … 長時間のご審議、ありがとうございました。
以上で、第10回垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を
閉会いたします。委員の皆様、本日は、お忙しい中、ありがとうございました。
